

干場会長 追悼文集へのお礼

干場会長 ご長男 干場 信明 様

故人干場信司の長男、信明と申します。

先日のお別れ会に際しましては、楡庭会の多くの皆様のご来場を賜り、故人に代わりまして厚く御礼申し上げます。

また、安川名誉会長御一行様に足をお運びいただいた16日、楡庭会ホームページに父の追悼文を掲載いただいていると伺いました。感謝申し上げます。

その日の夜にホームページを拝見し、プリントアウトして父に報告させてもらいました。こんなにも多くの皆様から追悼のお言葉を頂戴したことを知り、直接お会いして感謝申し上げるべく、ご招待いただいた120周年祝賀会に参加するべきだったと大変後悔しています。

父の使用していたノートパソコンには、亡くなる前日の日付で120周年親睦テニスの次第データが保存されており、父が挨拶を仰せつかる予定のようでした。きっと父もこの度の記念行事をととても楽しみにしていたのだろうと思うと、寂しく悔しい気持ちに時折なります。

ただ同時に、楡庭会の皆様との長きにわたる深い親交こそが、父の充実した人生の礎であったことを改めて強く感じ、皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございます。文頭に申し上げるべきことでしたが、この度は北海道大学庭球部が創部120周年を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。北大庭球部そして楡庭会の今後のご発展を祈念して、感謝のご挨拶とさせていただきます。

追伸

稚拙かつ乱文は承知の上ですが、追悼いただいた皆様に感謝をお伝えしたいと思い、幹事長の太田様を通じてご連絡差し上げました。祝賀会参加という機会を頂戴したにも関わらず、伺うことができなかった無礼をどうかお許しください。

余談になるのですが、私は父の影響もあって高校からテニスを始め、今では父と同じく？テニスが人生の一部（大半、が正しいでしょうか）となっています。息子の私が数多あるスポーツの中からテニスに巡り会い、父と共通のスポーツを楽しくプレイできましたのは、父のテニスへの傾倒、それは楡庭会の皆様との長く深い親交があってこそ相成ったものと確信しています。個人的な話となってしまい大変恐縮ではありますが、テニスを通じて日頃から父と親交くださった皆様に改めて感謝

申し上げます。

感染症が不安な日々はもうしばらく続きそうですが、これからも皆様どうぞお元気で過ごされてください。余談が長くなってしまいましたが、これにて失礼いたします。

令和4年7月18日

干場 信明